

## [災害統計]

# 平成 19 年における車両系荷役運搬機械等による 死亡災害の発生状況

### 1. 全般的状況

平成 19 年のフォークリフト等の車両系荷役運搬機械等（貨物自動車を除く。）に起因する労働災害による死亡者数は 37 人で、前年の 51 人に比べ、14 人（27.5%）の減少となった。

種類別、業種別の死亡者数は表 1 のとおりである。

種類別では、フォークリフトに起因するものが 34 人（81%）と圧倒的に多く、次いで不整地運搬車 2 人（5.4%）ショベルローダー 1 人（2.7%）となっている。業種別では、陸上貨物運送事業で 10 人（27.0%）と最も多く、以下、製造業、建設業と続いている（その他の事業を除く）。

種類別、事業場規模別の死亡者数は表 2 のとおりである。

労働者数 10～29 人が 18 件（各 48.6%）と最も多く、続いて 1～9 人未満の事業場で 8 人（21.6%）であり、50 人未満の事業場では 30 人（81.1%）と 8 割強を占めている。

種類別、年齢区分別の死亡者数は表 3 のとおりである。

50 歳以上の高年齢労働者が 19 人（51.4%）で、全体の 5 割強を占めている。

### 2. フォークリフトによる災害状況

種類別で最も多いフォークリフトの業種別、事故の型別の死亡者数は表 4 のとおりである。

「はさまれ、巻き込まれ」によるものが 10 人（27.0%）、「墜落・転落」によるものが 9 人（24.3%）、「激突され」によるものが 8 人（21.6%）となっている。

「はさまれ、巻き込まれ」では、フォークリフトの作業中、適正な運転方法をとらなかったことにより、マストとヘッドガードの間にはさまれる災害や、走行中、運転手の確認不足により、他の労働者がフォークリフトにひかれる災害が多い。

また、「墜落・転落」では、プラットフォームからの転落や、ホッパー内への転落が目立った。

フォークリフトを用いて作業を行う際は、作業場所の状況、フォークリフトの種類及び能力、荷の種類等から、作業方法（特に輻輳作業）を十分に検討し作業計画を定め、これに基づき、必要な資格を持った者が作業を行う必要がある。

### 3. フォークリフト以外による災害状況

不整地運搬車による死亡災害は建設業において 2 件発生していて、ショベルローダーによる死亡災害は製造業で 1 件発生している

発生状況を見ると「下り勾配で車両が前向きに転倒」、「法面に乗り上げ横転」、「フレコンバックに接触して圧死」の災害が発生している。

運行経路の安全確保、適正な作業計画に基づく安全な作業の徹底を図る必要がある。

（情報提供 厚生労働省）

**表1 車両系荷役運搬機械等の種類別・業種別死亡災害発生状況**（平成19年）  
（単位：人）

業種 種類	製 造 業	鉱 業	建 設 業	交 通 運 輸 事 業	陸 事 上 貨 物 運 送 業	港 湾 荷 役 業	林 業	その他の事業		計
								商 業	業	
フォークリフト	8	1	5	-	10	1	-	9	7	34
ショベルローダー	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストラドルキャリア	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不整地運搬車	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2
構内運搬車	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	9	1	7	-	10	1	-	9	7	37

**表2 車両系荷役運搬機械等の種類別・規模別死亡災害発生状況**（平成19年）  
（単位：人）

規模 種類	規模						計
	1～9人	10～29人	30～49人	50～99人	100～299人	300人以上	
フォークリフト	8	16	3	4	2	1	34
ショベルローダー	-	-	1	-	-	-	1
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-
ストラドルキャリア	-	-	-	-	-	-	-
不整地運搬車	-	2	-	-	-	-	2
構内運搬車	-	-	-	-	-	-	-
合計	8	18	4	4	2	1	37

**表3 車両系荷役運搬機械等の種類別・年齢別死亡災害発生状況**（平成19年）  
（単位：人）

年齢 種類	年齢						計
	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	
フォークリフト	-	4	5	7	6	12	34
ショベルローダー	-	1	-	-	-	-	1
フォークローダー	-	-	-	-	-	-	-
ストラドルキャリア	-	-	-	-	-	-	-
不整地運搬車	-	1	-	-	1	-	2
構内運搬車	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	6	5	7	7	12	37

**表4 フォークリフトによる事故の型別・業種別死亡災害発生状況**（平成19年）  
（単位：人）

業種 事故の型	製 造 業	鉱 業	建 設 業	交 通 運 輸 事 業	陸 事 上 貨 物 運 送 業	港 湾 荷 役 業	林 業	その他の事業		計
								商 業	業	
墜落，転落	2	-	1	-	2	-	-	4	2	9
転倒	-	-	-	-	1	-	-	1	1	2
激突	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飛来，落下	1	-	1	-	2	-	-	-	-	4
崩壊，倒壊	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
激突され はさまれ， 巻き込ま れ	2	1	3	-	1	-	-	1	1	8
破裂	2	-	-	-	4	1	-	3	3	10
交通事 故	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1
感電	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	8	1	5	-	10	1	-	9	7	34